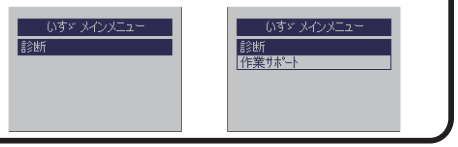
TPM1000BZ for Trucks

重要

ご使用前に必ずお読み下さい

出荷時にインストールされているソフトは試用版です。
このまま使用されても通常の診断ができませんので、この説明書を参考にユーザー登録とアップデートを行ってから使用してください。

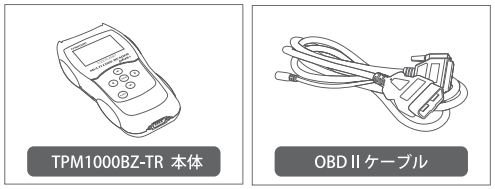
メーカー選択画面が左下の表示の場合は試用版ソフトで診断機能のみになっております。必ず、登録・アップデートを行ってください。（左下はアップデート後の「いすゞメインメニュー」です。）



お問い合わせ　株式会社バンザイ
〒105-8580　東京都港区芝 2-31-19 TEL(03)3769-6880
http://www.banzai.co.jp/

TPM1000BZ-TR パッキングリスト

この製品には以下の内容が含まれています。



※バッテリー接続ケーブルは TPM1000BZ-TR を接続時に車両から電源が入力されない場合に使用します。

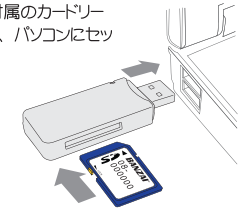
登録とアップデート

ステップ 1

TPM1000BZ-TR 本体より SD カードを抜き取ります。

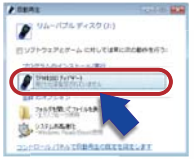
ステップ 2

SD カードを付属のカードリーダーに挿入し、パソコンにセットします。

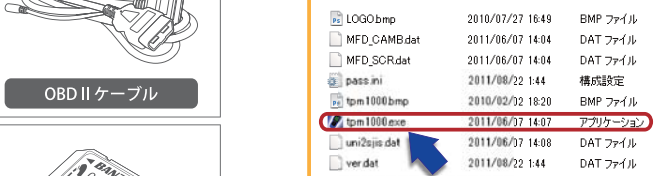


ステップ 3※1

パソコンが SD カードを認識すると自動再生メニューが表示されます。ここで「TPM1000ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ」をクリックします。



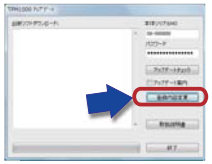
自動再生がこのように表示されない場合は、手動にて[マイコンピュータ]-[リムーバブルディスク] で表示させ、SD カード内にある「tpm1000.exe」（アプリケーション）を実行してください。



SD カード（リムーバブルディスク）内

ステップ 4

「TPM1000ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ」が起動しますので、[登録内容変更] ボタンをクリックします。

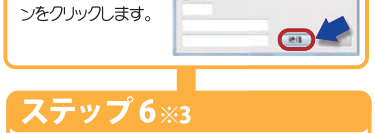


ステップ 5※2

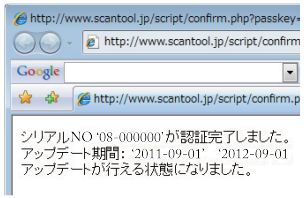
「ユーザー登録」画面が表示されますので、各入力欄にお客様の情報を入力し、[送信] ボタンをクリックします。

ステップ 6※3

送信が完了したら、登録したメールアドレスのメールをチェックして下さい。
「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届きます。メールを開いて、内容にあるリンクをクリックしてください。

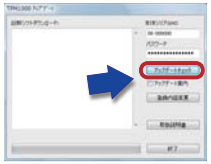


メールが届かない場合は「迷惑メール」の欄に移動されていないか確認してください。
クリックするとお使いのブラウザーで「認証完了」のページが表示されます。



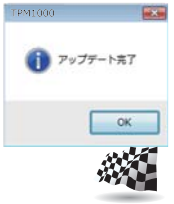
ステップ 7※4

「TPM1000ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ」の [ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄﾁｪｯｸ] ボタンをクリックします。



ステップ 8

「アップデート完了」メッセージが表示されましたら、アップデートが完了したことになります。接続を解除して車両の診断を行って下さい。



注意

SD カード

SD カードの取扱中にカードのロック機能が“LOCK”になっている場合は必ず解除してください。“LOCK”のまま使用するとアップデートや診断中の保存ができなくなります。

セキュリティーソフト

SD カードをパソコンに接続した場合や、「tpm1000.exe」を実行した場合に、セキュリティーソフトが反応する場合があります。必ず「tpm1000.exe」を許可してください。もし、ブロックしてしまった場合、「登録変更」や「アップデートチェック」が行えませんので、注意してください。
※セキュリティーソフトの設定はご使用のセキュリティーソフトの取扱説明書を参照してください。

※1：

セキュリティーソフトによってユーザー登録・アップデートが出来ない場合はバンザイ HP より別の方法がございますのでそちらで行なって下さい。

①バンザイ HP を開く http://www.banzai.co.jp
②バンザイ HP 上の「マルチコードリーダープラス」のボタンをクリック
③画面下の「ユーザー登録・アップデートがうまくできない場合はこちらへ」をクリック
④HP に記載されている手順書を確認の上、ユーザー登録・アップデートを行なって下さい。

※2：

ユーザー登録画面ではお客様の情報（代理店名等）を入力してください。この時、メールアドレスは必ず半角英数文字で入力してください。間違ったメールアドレスを入力されると、「送信できません。」のメッセージが表示されます。

※3：

「scantool.jp 登録受付メール」が受信 BOX に届かない場合は、「迷惑メール」のフォルダをご確認ください。
また、“ステップ 5”で複数回 [送信] ボタンをクリックした場合は、その回数分メールが届きます。この場合、最新のメールを確認してリンクをクリックしてください。
メールを確認して、「アップデート期間」が表示されれば、認証完了になります。

※4：

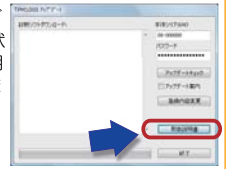
認証が完了すると、ソフトをダウンロードできるようになりますので、[アップデートチェック] をクリックします。「書込みできません」のメッセージが表示された場合は、SD カードのロック機能を確認してください。このあと、「アップデート完了」のメッセージが表示されるまで、SD カードを抜き差ししないでください。

取扱説明書のダウンロード

この取扱説明書は PDF ファイルになっています。
ご覧になるには Adobe(R)READER(R) が必要です。また、バージョンの違いで表示できない場合がありますので、最新バージョンをダウンロード、インストールしてご覧になることをおすすめします。

ステップ 1

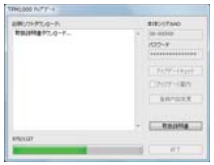
「TPM1000ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ」が起動した状態で、[取扱説明書] をクリックします。



※この画面で取扱説明書のダウンロード出来ない場合は、バンザイ HP からもダウンロードが可能です。

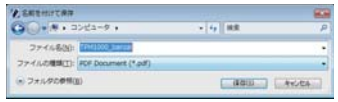
ステップ 2

取扱説明書のダウンロードが開始されます。



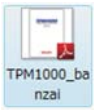
ステップ 3

ダウンロードが完了すると、保存先を聞いてきますので、任意の場所に保存してください。



ステップ 4

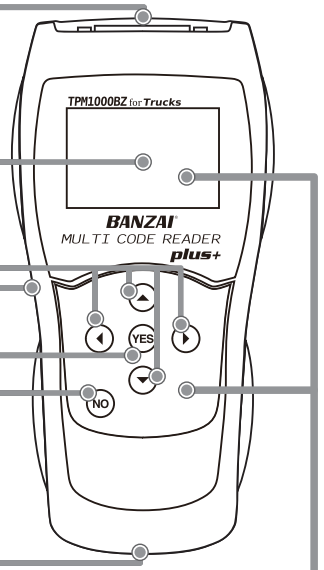
保存した場所に先ほどダウンロードしたファイルがありますので、ダブルクリック（又は右クリック - 開く）で表示させます。



TPM1000BZ for Trucks

TPM1000BZ-TR クイックスタートガイド

各部名称



DB25 ポート
OBD2ケーブルを接続します。

液晶モニター
各種情報を表示します。

方向ボタン
画面移動やカーソルの移動時に操作します。

SD カードスロット
SD カードを挿入します。

YES ボタン
決定、実行する場合に操作します。

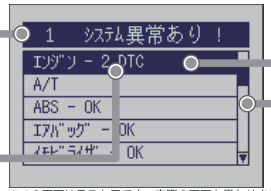
NO ボタン
キャンセル、中止する場合に操作します。

RS232-C ポート
TPM1000PR（オプションプリンター）を接続し、印刷します。

保護フィルム
液晶モニター・操作ボタンには、輸送時のキズ防止フィルムが貼ってあります。
画面など見にくい場合は外してご使用下さい。

画面説明

全自己診断結果画面



※この画面はテスト用です。実際の画面と異なります。

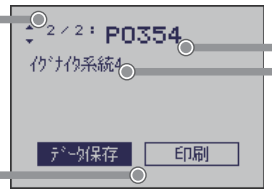
タイトル
現在のシステムやメッセージが表示されます。

故障コード数
故障コードの数が表示されます。

選択カーソル
項目に対して文字が反転します。選択する場合に表示されます。

ページカーソル
表示が長い場合に表示されます。上下移動でスクロールします。

故障コード表示画面



ページ数
複数のページになる場合ここにページ数が表示されます。上下キーで表示内容が変更できます。

データ保存・印刷
保存 SD カード内に保存し、印刷は TPM1000PR で印刷します。

故障コード
故障コードが P,B,C,U の頭文字と 4 桁の数字で表示されます。

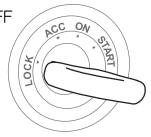
故障コード内容
故障コードに対しての内容を表示します。

診断方法

ここでは、一連の故障コードの読取り方法と、印刷・保存・故障コードの消去について説明いたします。

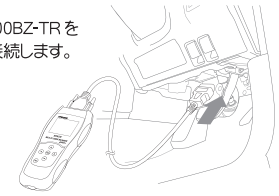
TPM1000BZ-TR の準備
1. TPM1000BZ-TR の SD カードスロットには SD カードが装着されているか確認します。
2. TTPM1000BZ-TR 本体とケーブルに破損や損傷などがないか確認します。

車両がイグニッション OFF である事を確認します。



イグニッション OFF

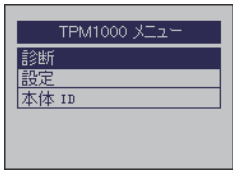
TPM1000BZ-TR を車両に接続します。



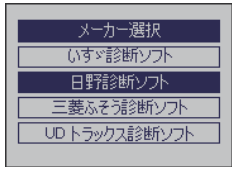
車両のイグニッションを “ON” にします。

イグニッション ON

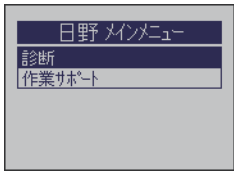
TPM1000 メニューが表示されます。
[診断] を選択して [YES] を押します。



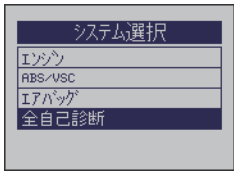
「メーカー選択」画面が表示されますので、診断するメーカーにカーソルを合わせて [YES] ボタンを押します。



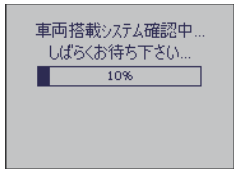
故障コードを読取りますので、[診断] にカーソルを合わせて [YES] ボタンを押します。



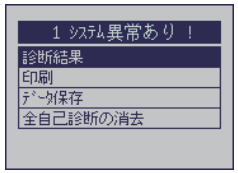
例では全てのシステムを診断しますので、[全自己診断] にカーソルを合わせて [YES] ボタンを押します。



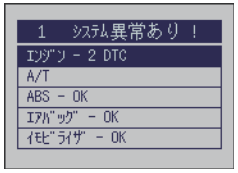
TPM1000BZ-TR が車両の各システムの故障コードを読取ります。



故障コードが入力されている場合は「システム異常あり!」と表示され、どのシステムに故障コードがあるか表示します。

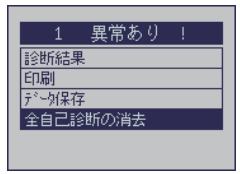


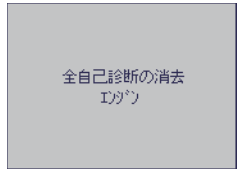
ここから、診断結果を表示・印刷・保存・消去の項目から選んで実行します。

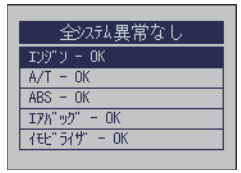


診断結果の消去

自己診断の消去を行う場合は [全自己診断の消去] にカーソルを合わせて [YES] ボタンを押します。
TPM1000BZ-TR が各ユニットの故障コードを消去していきます。
消去が完了すると、一度全自己診断を行い、故障コードが消去されたことがわかります。
※故障コードの消去を実行しても故障が発生している場合は故障コードが表示されます。

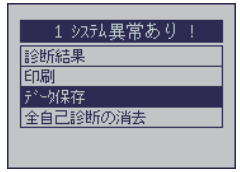


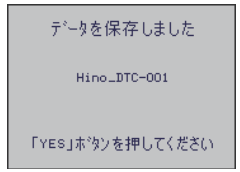




診断結果の保存

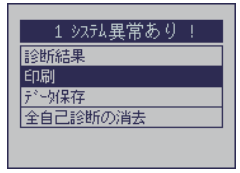
診断結果を保存したい場合はカーソルを [データ保存] に合わせて [YES] ボタンを押します。
表示が変わり、「保存しました」のメッセージが表示されると、画面中央（例：Hino_DTC-001）という名前で SD カードに保存します。

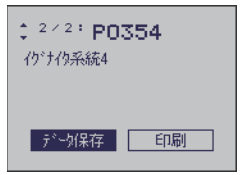




診断結果の印刷

診断結果を印刷する場合は [印刷] にカーソルを合わせて [YES] ボタンを押します。
※[YES] ボタンを押す前に「TPM1000PR」を接続し、電源を入れておいてください。



診断結果の表示

故障コードはコード番号（例：P0354）と内容（例：ｲｸﾞﾅｲﾀ系統 4）で表示されます。また、複数ある場合は上下矢印で他の故障コードを表示できます。